

2021年11月

医療関係者 各位

フェリング・ファーマ株式会社  
富士製薬工業株式会社

# プロウペス<sup>®</sup>腔用剤10mg

## 子宮頸管熟化剤「プロウペス<sup>®</sup>腔用剤 10mg」の国内事業提携に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

フェリング・ファーマ株式会社(以下「フェリング」)と富士製薬工業株式会社(以下「富士製薬工業」)は、この度、フェリングが創製した子宮頸管熟化剤「プロウペス<sup>®</sup>腔用剤 10mg」(一般名:ジノプロストン、以下「プロウペス」)に関し、フェリングと富士製薬工業が国内において事業提携をすることに合意しましたのでお知らせします。

今回の合意により、2021年12月1日からプロウペスの販売・流通は富士製薬工業が担当し、医薬情報提供活動はフェリングと富士製薬工業が協働して行います。なお、製造販売承認は引き続きフェリングが維持します。

発売以来の本製品に対するご支援に深謝いたしますとともに、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

### 《プロウペスについて》

プロウペスは、妊娠37週以降の子宮頸管熟化不全における熟化の促進の適応症を有する唯一の腔用剤です。有効成分を含有する親水性ポリマーと、これを包含する取り出し用紐で構成され、標的部位である子宮頸部に貼りつくように挿入(後腔円蓋に留置)し持続的にジノプロストンを放出することで、子宮頸管を中心に効果を発揮します。また、副作用等が生じた場合には容易かつ迅速に腔から取り出すことが可能です。1995年に米国で承認されて以降、子宮頸管熟化を促進する薬剤として70以上の国と地域で承認されています(2020年12月時点)。

## 1. 各種コードと変更内容

販売名	プロウペス <sup>®</sup> 腔用剤 10mg
包装	1 個 × 5
◆提携後も変更なし	
薬価基準収載医薬品コード	なし
個別医薬品コード(YJコード)	なし
レセプト電算処理システムコード	なし
◆提携前(製造販売元:フェリング・ファーマ株式会社)	
統一商品コード	802-24911-9
HOTコード	1877991010101
GS1コード(調剤包装単位)	(01)04987802249195
GS1コード(販売包装単位)	(01)14987802249116
◆提携後(製造販売元:フェリング・ファーマ株式会社、販売元:富士製薬工業株式会社)	
統一商品コード	431320050
HOTコード	1877991020101
GS1コード(調剤包装単位)	(01)04987431300533
GS1コード(販売包装単位)	(01)14987431320057

□国内事業提携後、暫くの間は、提携前のフェリング GS1コード(調剤包装単位/販売包装単位)が印刷されたブリスターシートが流通いたします。一定期間経過後、個装箱のデザイン変更及び、富士製薬工業の調剤包装単位コードへの表示変更を実施させていただく予定です。詳細につきましては、改めてご案内申し上げます。

## 2. 対象製品に関するお問い合わせ先

- フェリング・ファーマ株式会社 くすり相談室  
フリーダイヤル:0120-093-168  
(受付時間 9:00~17:30 ※土・日・祝日及び会社休日を除く)
  
- 富士製薬工業株式会社 学術情報課フリーダイヤル:0120-956-792  
(受付時間 9:00~17:00 ※土・日・祝日及び会社休日を除く)  
(※2021年12月1日以降)

以上